



CONTENTS ●万ーに備える！地震保険（火災保険）に再注目！…p.1 ●「第17回雙環フォーラム」報告／●おやと思ったら、ご相談を!!「事例報告が増えています！」取込み「詐欺」…P.2
●トップ対談…p.3 ●全国に同業の輪を拡げるジャパン建材会 紹介…p.4-p.5 ●HDJ & HDP ご案内…p.5 ●商品情報…p.6
●イチ押し Bulls：耐震・耐火関連商品 ●地域活性隊 ●合板天気図

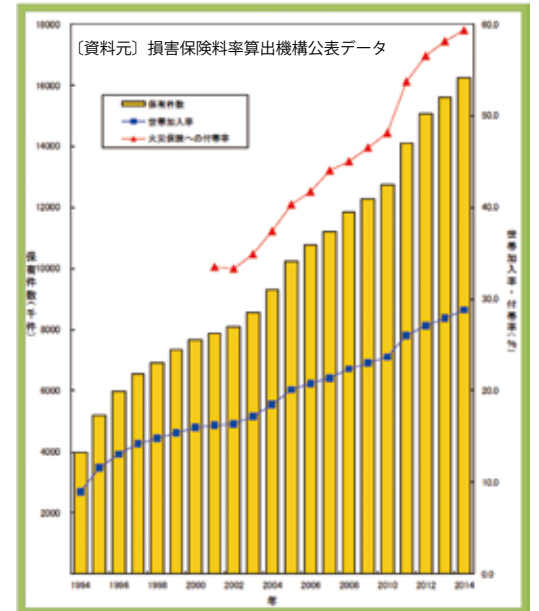
万ーに備える！地震保険（火災保険）に再注目！

このたびの熊本地震により被害を受けられた皆様に心よりお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復旧を祈念いたします。

熊本地方を連日襲った巨大地震と相次ぐ大規模余震は今なお続いております。その被害がいかに甚大かは、40名を超えてなお増え続ける犠牲者、そして約11万人が避難生活を余儀なくされている現状から見ても明らかです。今後、住宅被害を受けた方たちが、家の改修や建て替えにかかる莫大な費用をどうやって捻出するかも深刻な問題として浮かび上がります。

実際、万ーの大震災に備えて地震保険に入っている世帯はどのくらいあるのでしょうか？損害保険料率算出機構発表の2014年度全国平均データ【右図】によると、地震保険付帯率（59.3%）地震保険世帯加入率（28.8%）ともに漸増傾向となっているものの、全体的に見れば4件に1件程度の加入率に過ぎません。それでは加入率が平均3割にも満たないのはなぜか？2011年の東日本大震災で高い評価を得た地震保険ではありますが、いまだ地震保険の制度自体にメリットが少ないと考えられている方が多く存在する点も見逃せない要素です。

今回の熊本地震の影響で、対岸の火事的視点や歴史的観点からの安全神話が完全に崩れ去り、安心を担保にさらに加入件数が増えそうな地震保険。この機会にいま一度、地震保険について理解を深めておきましょう。



地震保険では、**地震・噴火**またはこれらによる**津波**（以下「地震等」といいます。）を原因とする**火災・損壊・埋没・流失**によって、保険の対象である**建物または家財が損害**を受けた場合に保険金が支払われます。

地震保険の基礎知識

地震保険は、公共性の高い保険です。被害が大きくなればなるほど保険会社の支払い能力を心配してしまいますが、国がバックアップしており、1回の地震による保険金の総支払限度額は11.3兆円となっています。（2016年4月現在）
ちなみに、東日本大震災での支払総額は、1兆2000億円となっています。政府がバックアップしているのは心強い限りです。

補償対象例

- ①地震で火災が発生し建物が焼けた
- ②地震で建物が倒壊した
- ③津波により建物が流された

〈保険金補償対象外の場合〉

- 故意もしくは重大な過失または法令違反による損害
- 地震などの際における紛失または盗難による損害
- 戦争、内乱などによる損害
- 地震などの発生日から起算して10日経過後に生じた損害

地震保険付帯率



「地震保険」にご加入の際は、必ず「火災保険」とセットでご検討ください！

地震保険にご加入されていないと、地震等を原因とする損壊・埋没・流失による損害だけでなく、地震等による火災（延焼・拡大を含みます）損害や、火災（発生原因を問いません）が地震等によって延焼・拡大したことにより生じた損害についても補償の対象となりません。

火災保険



地震保険

注意 地震保険単独でのご加入はできません。

- 地震保険は、火災保険に原則付帯されます。（ご希望により外すこともできます。）
- 建物、家財それぞれご加入の必要があります。

地震保険世帯加入率



JKサポートセンター
JK Support Center

JKサポートセンターは工務店様サポートとして、新築戸建ての営業・受注支援から引き渡し後のアフターフォローまで、建築行政の流れを踏まえた様々なサポートをワンストップでご提供します。
また、国の住宅政策に対応した幅広いサービスの拡充と継続により、住まいづくりを総合的にお手伝いします。

JKサポートセンターでは火災保険の取次を行っております。ご利用の際は気軽にお問合せください！**[TEL] 03-5534-3713 [MAIL] jksupport@jkenzai.com**

2016.5.13

「第 17 回 雙環フォーラム」を開催しました

経営者の皆様の「学びの場」としてご好評頂いております本フォーラムも、お陰様で今回が 17 回目の開催となりました。今回の講師は、藤田英明氏。株式会社日本介護福祉グループ創業者にして、介護 FC「茶話本舗」を全国に展開する起業家であり、介護福祉業界ではその名を知らない人はいないフロントランナーです。18 年間にわたり社会福祉に従事されている氏から、これまでのご経験、現状、今後の展望等について、熱いお言葉で語って頂きました。

一見、順風満帆にステップアップされている様に

見えるご経歴も、やはり多くの失敗や再起を少しずつ積み上げて獲得されたものであり、既成概念を打破するための飽くなき挑戦は、業界や世代の壁を超えて我々の胸に強く響いたのではないのでしょうか。

住環境を向上させていくという意味においては、今後の我々のビジネス領域と捉える事もできますし、事実「空家利用」「サ高住（サービス付高齢者向け住宅）」「グループホーム」等については既に参画されている、あるいは今後参画をご検討されている方も多いのではないかと思います。特に国交省管轄であ



講演に立つ
藤田英明氏

るサ高住については、氏も「一番可能性を感じている」とおっしゃっています。その中に含まれるコンテンツについては我々の業界からも提案できることは必ずやある筈です。

「世の既成概念を破るというのが、真の仕事である」

氏から頂いた坂本龍馬の言葉が、我々の背中を力強く押してくれています。今まで以上に結束力を高め、一歩ずつ前進して参りましょう。

※次回の「第 18 回 雙環フォーラム」は
11 月 11 日に開催予定です。
皆様方のご参加をお待ちしております !!

おやっ？と思ったら、ご相談を !!

事例報告が
増えています！

“取込み”詐欺

複数の卸業者に対して住設機器や家電製品などの新規取引を電話で打診するといった事例。また、取引開始当初は決済条件や支払期日も約束どおりだったのが、取引を重ねるうちに発注数は増えているのに、支払は滞りがちになる、そしてついには連絡もとれなくなってしまう事例。あの手この手の詐欺事例が報告されています。「しまった！」と思ってからでは手遅れです。被害を事前に食い止めるために、必ず【取引開始前のチェック！】を実行してください。不自然な新規取引の打診や、先様の言動に「おやっ？」と感じるようなことがありましたら、まずはジャパン建材の営業担当までご相談ください !!

【詐欺業者の手口】

- | | |
|------------------|-----------|
| ① 取引条件は全て OK | ④ 未払い発生 |
| ② 少量発注、条件どおりの支払い | ⑤ 行方をくらます |
| ③ 次々に大量発注 | |

【取引開始の前にチェック！】

- | | |
|------------------------------------|--------------------------------------|
| ☐ 情報と事実の整合性 | ☐ 先方事務所の実態の確認 |
| ☐ 会社登記の状況 | ☐ 悪い風評は出ていないか |

ブラインド 網戸

ブラインドと網戸機能を兼ね備えた
多機能スクリーン

ソフトな生地素材が、光と風を自在にコントロール。

■ 特長

- 風を通しながら視線はカット
- 心地よい採光性
- 窓まわりはスッキリ

スラット断面のひみつ

2層の網とスラットが生み出す
トリプル効果

通風
採光
視線カット

外網
スラット
内網

防虫性の高いファスナーガイド

SEIKI セイキ販売株式会社
http://www.seiki.gr.jp/

〒176-0014 東京都練馬区豊玉南3-21-16
TEL 03-3993-0444

営業マンが使える
耐震チェック機能
標準搭載

安心・安全も
住宅プレゼンの
ひとつです。

ウォークインホーム・プラス〈エンタープライズ〉なら
デザインも安心も住空間をトータルに提案！

営業	見積	設計
直下率・耐力壁を 対面でリアルに伝える	リフォームと新築 どちらにも対応	N値計算/金物 自動配置で効率アップ
スマホで 完成イメージを共有	見積しながら原価を 算出・利益を管理	長期優良住宅も テンプレートで時間短縮

ウォークインホーム・プラス〈エンタープライズ〉 1,000,000円(税別)

安心計画株式会社 ☎092-475-1751 安心計画 🔍検索

村山木材 株式会社

【会社概要】
本 社 北海道砂川市東 3 条南 4-2-5
創 業 昭和 28 年
設 立 昭和 37 年
資 本 金 2,100 万円
年 商 29 億円（平成 26 年度）

トップ
対談



代表取締役
造田 孝志 様
ぞうだ たかし
【プロフィール】
1961（昭和 36）年 北海道に生まれる
1983（昭和 58）年 札幌経理専門学校卒
1992（平成 4）年 村山木材株式会社入社
1999（平成 11）年 取締役に就任
以後、常務取締役、専務
取締役を歴任
2011（平成 23）年 代表取締役に就任

創業者のスローガン「情熱・迅速・信頼」を引き継ぎ、これからも皆様のベストパートナーとして成長し続ける企業を目指します。

日本の経済発展と共に成長

小川 ご創業の経緯から伺わせていただければと思います。
造田 当社の創業は昭和 28 年 10 月、村山宏前会長夫妻が二人で賃挽き製材工場から始めた会社です。当初は、お客様から依頼のあった丸太を製材品にして販売していました、昭和 37 年 7 月に村山木材株式会社を資本金 500 万円で設立しました。
一般的に、同属会社の場合は前に株式会社をつけることが多いですが、同属会社に留まることなく成長する企業に、という夫妻の思いがあって後株の「村山木材株式会社」としたそうです。
小川 ご創業者ご夫妻が望まれていたとおりに成長していますね。
ところで、ご創業当初に製材されていたのはどのような樹種でしたか。
造田 その頃には北海道産エゾマツは稀少品で、ロシアからの北洋材（エゾマツ）も多少は入ってきてはいましたが、北海道の住宅用はトドマツとカラマツが主流で、当社では主にトドマツの住宅用構造材を製材していました。
その後、製材工場では立ち行かなくなる時代になったため、昭和 47 年に製材工場を閉鎖して従業員数名を入れ、製材・建材の販売を中心とする材木店としたのが今の一般建築資材の総合販売店の始まりです。その時に本社建物と倉庫、木材立て場などを建設しました。現在もそこが当社の本社で経理事務を置いています。
小川 起業される前は、どのようなお仕事をしていたのでしょうか。
造田 富良野の生まれで富良野の製材工場で働いてノウハウを身に付け、親戚の伝があって砂川で開業した、と聞いています。
小川 ご創業時には製材機も購入されたのでしょうかね。
造田 文字通りの裸一貫から始め、当初は製材機を借りて仕事をしていたそうです。
小川 それからわずか 10 年足らずで会社設立、さらにその 10 年後には今のご商売の礎を築かれたということですね。
造田 はい。販路も道内各所に拡大し、従業員も増やしていったので、本社だけでは手狭になり、昭和 51 年に砂川市吉野 1 条南に木材販売センターを建てました。さらに昭和 61 年には資本金を 2,100 万円に増資。「とにかく田中角栄氏の日本列島改造論のおかげで大きく業績を伸ばせた」という話を前会長夫妻からよく聞きました。

夫婦で事業を継承

小川 造田社長がこちらに入社された経緯をお聞かせいただけますでしょうか。
造田 私は美幌出身で、札幌の学校で村山前会長の一人娘である家内と出会って結婚しました。
小川 ゆくゆくは事業を継がなければいけないと考えていらっしゃったのですか。
造田 いいえ、そういう話は全くありませんでしたので、私は札幌の港湾工事を主体とする会社の経理担当で、家族 4 人で札幌に住んでいました。ある時、前会長から「砂川に戻って来ないか」という話がありました。それまで私たち夫婦は後を継ぐことは全く考えていませんでしたが、私自身、事業に取り組んでみたいという気持ちはありましたので、平成 4 年 4 月に村山木材に入社し、家内も財務担当として入社しました。
小川 それまでとは全く異なる環境でのお仕事でしたでしょう、いかがでしたか。
造田 最初の 1 年間は経理を勉強し、2 年目は営業に必要な商品を知るために 4 トントラックに乗って配送を担当しました。その間に商品覚え、大工さんたちとも顔見知りになって交流ができるようになり、3 年目からは工務店様と販売店様担当で営業を始め、現在に至っています。
小川 社長ご就任が平成 23 年、20 年近くみっちり斯業経験を積み、現場を把握されて事業を継承されたということですね。

ギブ&テイクの加工事業を展開

造田 社長就任と同時に、それまで副社長として頑張ってくれていた永沢が体調を崩して退社することになり、構造材プレカット工場への営業を私が引き継ぐことになりました。
小川 プレカット工場がお客様に加わったのはいつ頃からですか。
造田 プレカット工場が立ち上がってきたのは北海道では平成 6、7 年で、その頃からプレカット用製材の受注を始めました。またその頃から輸入材が圧倒的に多くなり、当社もある程度の木材を在庫しておかなければいけないということで、平成 7 年に木材販売センターを新築して鉄骨ヤード 2 棟を増設し、苫小牧港にも在庫を置くようにしました。
さらに平成 8 年、当社で羽柄材を加工する製材加工場を建設して加工事業部を設け、造作加工と羽柄加工事業を始めました。その加工品とプレカット工場で加工された構造材を組み合わせて邸別に配送することを副社長が始めました。それは今も続けていまして、年間約 400 コンテナの羽柄用・構造用製材をヨーロッパから輸入しています。
小川 400 コンテナというと相当の量ですが、そのほとんどがホワイトウッドですか。



造田 はい。実は、プレカット加工が主流になる前の当社の営業エリアは旭川から美幌くらいまででした。副社長から加工事業を引き継ぎ、さらに道内の四方に分散している他のプレカット工場ともお取引いただくようになり、北は稚内から東は斜里、南は苫小牧まで、道南エリアを除く道内各所のプレカット工場へ当社からプレカット加工を発注し、プレカット工場には当社から製材や羽柄材を買っていただく、この事業が当社の柱の一つになっています。
小川 ギブ&テイクの関係で業績を伸ばしていらっしゃるのですね。
造田 はい、ただこの事業の難しいところは、常に在庫をしておかなければいけないこと、でも、仕入れた材料を必ず決まったプレカット工場で買っていただけるという保証はないという点です。
小川 確かにリスクはあるでしょうが、そこが村山木材様ならではの機能でもあるということでしょうね。
造田 そうですね、村山木材に言えば、何とかしてくれるだろう、というのがお客様にとって当社とお付合いいただいている利点になっていると思います。

建材の裾野を広げる

小川 同時に建材の裾野も拡大されていますが、造田社長ご就任以後のことですか。
造田 はい。かつて砂川市内だけで当社のような販売店が 6 社ほどあったそうで、私が入社した時点でも 4 社ありました。それが今では当社だけになっていまして、ご注文いただくお客様が増えたことも、もちろんあります。同時に、費用対効果を見直す中で砂川を中心とするエリアの大工・工務店様の建てる住宅一棟へ当社から納品する割合を高めていくことに力を入れました。
小川 お客様一社当たりの受注率を高めてくれたということですね。
造田 そのために建材の品揃えを増やしてきました。
私が入社した平成 4 年の売上が約 15 億円。そこから凸凹を繰り返しながら、平成 15 年には 20 億円超、平成 25 年の 60 周年にあたって過去最高の売上を目指そうということで 30 億円超を実現しました。以後 30 億円近い売上を維持できるようになりました。この規模を続けていきたいと思っています。

地元に貢献するリノベーション

小川 工務店様への今後の取組みについてお聞かせいただけますでしょうか。
先ほどのお話では、エリアを絞った地場密着の販売で売上を伸ばしてこられたということでした。10 年前の販売先上位 10 社と、現在の上位 10 社は変わっていますか。
造田 はい、変わりましたね。その一番の要因は、戸建て新築住宅を主体とされているお客様よりも、貸家を主体としているお客様のほうが伸びていることだと思います。また当社では、廃業された工務店様から独立されて資金繰りしやすいリフォーム工事を手掛けるようになっていらっしゃるお客様を増やしていることが、もう一つの要因としてあると思います。
小川 貸家を主体とされている工務店様が伸びてきたのはいつ頃からですか。
造田 4、5 年くらい前からですね。
小川 東日本大震災後のことですね。平成 21 年のリーマンショックの頃に境に新築だけを手掛けるのではなく、不動産業の方と一緒に土地活用のご提案から取り組んでいこうという方々が増えてきたということでしょうか。
造田 そうですね、相続税対策として土地活用のご提案から取り組んでいらっしゃるようです。
実は、当社も 2 年くらい前から、砂川近郊の戸建て中古物件を余力の範囲で購入して全面的にリフォームをして販売もしくは賃貸物件にすることにも取り組んでいます。
小川 そういった物件に求める立地条件はどんなことですか。
造田 まず学校が近いことですな。
小川 子育て中の若い世代を対象とする戸建て住宅ということですね。それは地元の方々に貢献できる素晴らしい取組みですね。
造田 ようやく砂川市も中古住宅の空き家状況の調査を始め、中古住宅市場の活性化に動き出してくれました。
小川 それは力強いですね。
造田 ただネックは、今のところ築 40 年、築 50 年といった中古物件が多いことです。
小川それほど古いと耐震改修が伴うリノベーションになってコストが合わないと言われていますが、立地条件の良い物件であれば、何か工夫をすることで活用できるかもしれませんね。
村山木材様が取り組んでいらっしゃるのは全面的なリノベーションで、今後も中長期にわたって取り組んでいかれることをお考えでしょうか。
造田 そうですね、新築需要は減っていくでしょうから、おそらく工務店様もこの分野に軸足を移していかれると思います。
小川 当社も、地域密着で住宅事業に携わる大工・工務店様を盛り立てていらっしゃる販売店様の方向性に沿うご提案ができるように日々考えて進んでおりますので、今後とも是非ご活用いただければと思います。
本日は貴重なお話を伺わせていただきましてありがとうございました。

全国のジャパン建材会 ご紹介

同業の輪を拡げ、住宅・建材流通業界の繁栄に貢献する

南は沖縄から、北は北海道まで全国 31 の地域、全会員数 1900 社を超えるジャパン建材のお客様会「ジャパン建材会」。住宅・建材流通業界の在り方・将来について共に考え、日々同業の輪を拡げています。

東京ジャパン建材会 正会員 475 社 賛助会員 48 社

東京ジャパン建材会
会長
篠崎 務
(株)シノザキ 代表取締役社長
▶微力ですが会員皆様のお役に立てるよう精一杯努力いたします。

新木場支部 正会員 55
東京ジャパン建材会 副会長
支部長 **沼田 允利**
(株)トーイツ 取締役会長
▶「希望を育もう。だが現実から目をそむけてはならない：英国王チャールズ名宰相」現実を直視する。

相模原支部 正会員 16
東京ジャパン建材会 副会長
支部長 **小栗 利夫**
(株)カナモク 代表取締役会長
▶厳しい時代、各地のジャパン建材会の皆様と情報を共有し勝組になりましょう。

府中支部 正会員 15
東京ジャパン建材会 副会長
支部長 **池田 昭義**
(株)コバヤシ 代表取締役社長
▶世の中の変化が激しくなる中、ピンチをチャンスにして行こう。

城北支部 正会員 20
支部長 **早川 淳**
早川住建(株) 代表取締役社長
▶支部活動の活性化を図り、会員相互の親睦を深め、各店の発展を目指します。

千葉支部 正会員 38
支部長 **伊藤 博幸**
(株)丸為伊藤為蔵商店 代表取締役社長
▶支部活動の充実と会員相互の親睦を図り、支部会の発展を目指します。

木更津支部 正会員 15
支部長 **豊田 文智**
(株)豊田 代表取締役社長
▶共に学び合い、地域に密着した情報発信の要となる会を目指します。

柏支部 正会員 11
支部長 **金子 正**
(株)丸金 代表取締役
▶新しい宮田所長と力を合わせて積極的に支部活動を行っていきます。

横浜支部 正会員 11
支部長 **横山 孝行**
(株)津ノ国屋材木店 代表取締役
▶後世に地域・業界の明るい未来を残せる様、共に尽力していきましょう。

平塚支部 正会員 13
支部長 **市川 信也**
(株)市川屋 代表取締役社長
▶平塚営業所を中心に魅力ある支部会にしていきたいと思っています。

川崎支部 正会員 7
支部長 **笠井 善泰**
(株)ミツサワ住設 代表取締役社長
▶会員様と仕事に役立つ活動をしていこうと思います。

藤沢支部 正会員 12
支部長 **岡部 耕治**
(株)戸塚建親センター 営業所長
▶地域の活性化と業界の発展のために、共に邁進していきます。

山梨支部 正会員 13
支部長 **戸栗 淳**
(株)白根ベニヤ 代表取締役会長
▶J K 会の活性化を図り、会員の皆様のお役に立てる様頑張ります。

さいたま支部 正会員 28
支部長 **川合 良平**
(株)川合ランパーセンター 代表取締役社長
▶会員の皆様並びにジャパン建材、メーカーの発展の為ガンバリます。

熊谷支部 正会員 14
支部長 **岡本 庄一郎**
オカモト建商(株) 代表取締役社長
▶支部の活性化を図り、企画を充実させます。会員を増やす努力をします。

春日部支部 正会員 12
支部長 **染谷 重明**
(株)染谷材木店 代表取締役
▶支部活動を思んじ何事も一生懸命。地域貢献企業の永継を目指します。

古河支部 正会員 8
支部長 **鈴木 健司**
旭木材工業(株) 代表取締役社長
▶支部での研修会や他の支部との交流で時代の変化に対応して行きましょう！

昭島支部 正会員 11
支部長 **矢澤 俊一**
(株)YAZAWA LUMBER 代表取締役社長
▶未来に向けて果敢に挑戦。ジャパン建材会盛り上げていきましょう。

所沢支部 正会員 10
支部長 **大江 悦男**
(株)山二商店 代表取締役社長
▶会員皆様のお力を集結し活気ある支部会に発展させて参ります。

入間 正会員 19
支部長 **亀山 正義**
竹内木材工業(株) 代表取締役
▶会員相互の交流を図り国の住宅政策の勉強と情報交換をしていきます。

高崎西支部 正会員 13
支部長 **若林 郁夫**
ヤマワ合板(株) 代表取締役社長
▶会員様と情報交換をし、より良い会の繁栄に邁進していきたいと思っています。

高崎東支部 正会員 18
支部長 **堤 博道**
(株)前橋銘木店 専務取締役
▶時の流れに残り残されないよう頑張ってくださいと思います

宇都宮西支部 正会員 24
支部長 **山口 久一郎**
(株)真岡建材店 取締役会長
▶ダントツ J K に見習って、情報をしっかり捉え、時代の変革に沿った展開をしましょう。

宇都宮東支部 正会員 15
支部長 **篠崎 務**
(株)シノザキ 代表取締役社長
▶地元栃木をもっと元気に、笑う門には福来る。

つくば支部 正会員 13
支部長 **磯貝 努**
(株)磯屋 代表取締役
▶私たちが中心となって、建築業界を盛り上げていきましょう！

水戸支部 正会員 11
支部長 **大崎 勝也**
(株)大崎材木店 代表取締役
▶今年より支部長を務めさせていただきます。支部活動を通し業界を盛り上げたいと思います。

長野支部 正会員 12
支部長 **宮森 武久**
ミヤモリ(株) 取締役
▶時代は、スピーディーに変化していきます。情報の収集が肝要と思います。

松本支部 正会員 14
支部長 **鈴木 文雄**
(株)丸富 代表取締役社長
▶Z E H 元年。地場ビルダーと販売店の生き残りを懸けて、会員の皆様と共に頑張ります。

新潟支部 正会員 15
支部長 **齋藤 昭三**
(株)山市 代表取締役社長
▶会員の皆様と支部の活性化に向け取り組んで参ります。

長岡支部 正会員 12
支部長 **西澤 枉紘**
(株)力ネ碓西澤材木店 代表取締役会長
▶『熊本の皆様お見舞申し上げます。当地も大地震があり大変でした。』元気を出せば良い事も!!

正会員：1180 社
賛助会員：734 社
(敬称略)

北海道ジャパン建材会

正会員 90 社 賛助会員 56 社

札幌支部

正会員 49

北海道ジャパン建材会 会長
今井 多嘉士
(株)札幌ベニヤ商会 代表取締役
▶情報共有、研修会開催にて会員相互の役立
つ会を目指します。



函館支部

正会員 11

支部長
増田 松行
増田木材(株) 代表取締役社長
▶会員相互の交流を通じ、更なる地域発展を
目指します。



旭川支部

正会員 14

支部長
大沼 哲郎
(株)大沼ベニヤ商会 代表取締役社長
▶会員間の情報の共有を図り、お客様への最
新情報、最適商品の提供を目指す。



帯広支部

正会員 16

支部長
佐藤 哲康
三ツ輪建材(株) 代表取締役社長
▶会員様のお役に立つ楽しい会を目指します。



青森ジャパン建材会

正会員 23 賛助会員 27

会長代行
赤石 慎
(株)赤石材木店 代表取締役
▶会員皆様の協力のもと、相互の繁栄と会の
発展を目指して参ります。



仙台ジャパン建材会

正会員 19 賛助会員 28

会長
中川 尚仙
中川木材(株) 代表取締役社長
▶地域業界発展の為、最先端の情報を発信し
ていきます。



福島ジャパン建材会

正会員 23 賛助会員 33

会長
小野塚 昇一
(株)オノヅカ 代表取締役
▶会員の親睦を深め会員同士の連携を図り変
化に対応できる様にする。



盛岡ジャパン建材会

正会員 17 賛助会員 26

会長
梅垣 昭三
(株)一戸建材 代表取締役社長
▶会員相互の親睦を計り地域の皆様に愛され
る会にしたいです。



秋田ジャパン建材会

正会員 24 賛助会員 25

会長
豊田 幸司
(株)豊田商会 代表取締役社長
▶情報を共有し親睦を深め、事業発展と拡大
をめざします。



山形ジャパン建材会

正会員 19 賛助会員 25

会長
荒木 光廣
(株)荒木建材店 代表取締役社長
▶J K 会の充実と時代の変化と市場動向を見
据えて、責任ある行動を取って参ります。



鹿沼ジャパン建材会

正会員 16 賛助会員 12

会長
岩永 義勝
(株)イワナカ梱包 代表取締役
▶今こそ初心を忘れず、希望を見失うことな
く大きな夢を持って前進していきましょう。



静岡ジャパン建材会

正会員 14 賛助会員 21

会長
榎原 俊章
(株)静北建板 代表取締役社長
▶笑顔をもっとに、明るい J K 会を目指し
ます。



沼津ジャパン建材会

正会員 15 賛助会員 22

会長
森田 宗司
(株)興建産業 代表取締役会長
▶会員様が、皆元気になるような会づくり
を目指します。



名古屋ジャパン建材会

正会員 28 賛助会員 23

会長
市川 晋介
(株)カーザミカワ 常務取締役 営業部長
▶会員相互の交流と情報を通じ更なる会の発
展をしたいと考えています。



金沢ジャパン建材会

正会員 7 賛助会員 12

会長
徳野 光春
(株)徳野商会 代表取締役社長
▶お客様に必要とされる商品やサービスを提
供し続けていきます。



福井ジャパン建材会

正会員 11 賛助会員 10

会長
山本 公啓
(株)山本材木店 代表取締役
▶会員各社様の発展、地域業界の活性化に繋
がる J K 会を目指します。



富山ジャパン建材会

正会員 9 賛助会員 11

会長
垣内 芳浩
(株)富山合板 代表取締役社長
▶地域の密着と活性化に努め、情報発信の要
となる会を目的とします。



浜松ジャパン建材会

正会員 14 賛助会員 18

会長
原川 誠
(株)原川 代表取締役社長
▶会員相互の交流と情報交換を通じて、会員
各社の発展を目指します。



大阪ジャパン建材会

正会員 68 賛助会員 31

会長
平越 國和
(株)丸国林業 代表取締役
▶今年も勉強会や研修会を通じて会員相互の
親交を図りたいと思います。



京都ジャパン建材会

正会員 22 賛助会員 24

会長
上原 久明
(株)ウエハラ 代表取締役社長
▶奥様同伴でのディナー会や販売店・工務店の社員
様参加でのセミナー等多彩な行事を行っています。



姫路ジャパン建材会

正会員 17 賛助会員 17

会長
谷口 幸三
(株)マルタニ 代表取締役社長
▶会員様の情報交換や勉強の場を設け、地域
の業界発展を目指します。



広島ジャパン建材会

正会員 29 賛助会員 26

会長
内海 康仁
光和物産(株) 代表取締役社長
▶時代の転換期、ジャパン建材(株)の指導を得
て頑張っていきたい。



岡山ジャパン建材会

正会員 17 賛助会員 20

会長
萩原 徳義
倉敷トヨー住器(株) 代表取締役
▶今年岡山 J K 会の会長を受けさせて頂く事に成
りました。会員の皆様よろしくお願いたします。



鳥根ジャパン建材会

正会員 12 賛助会員 9

会長
板倉 靖夫
(株)イタケン 代表取締役
▶次代を見据え、夢を持てる新世代に繋がる
運営を目指します。



山口ジャパン建材会

正会員 14 賛助会員 13

会長
富田 重喜
(株)林材 代表取締役社長
▶会員企業のための、「防犯と空き家」をテ
マにした研修会を始めました。



四国ジャパン建材会

正会員 28 賛助会員 26

会長
村上 高志
(株)シンツ 代表取締役社長
▶地域を活性させる為の大事な情報交換の場
と致します。



福岡ジャパン建材会

正会員 39 賛助会員 29

会長
古賀 正人
(株)古賀木材センター 代表取締役社長
▶会員様との交流を深め更なる発展を目指し
ます。



北九州・大分ジャパン建材会

正会員 30 賛助会員 18

会長
福原 俊雄
(株)福原材木店 代表取締役
▶会員相互の交流と、情報交換を通じ、更な
る発展を目指します。



長崎ジャパン建材会

正会員 27 賛助会員 15

会長
末次 康成
(株)末次材木店 代表取締役
▶会員企業のお役に立つ営業支援活動を企画
運営し活力ある J K 会を目指します。



熊本ジャパン建材会

正会員 19 賛助会員 34

会長
森崎 伸晃
善徳丸建材(株) 代表取締役社長
▶熊本地震被災からの早期復興を目指し、会
員各社力を合わせて頑張りましょう。



宮崎ジャパン建材会

正会員 16 賛助会員 31

会長
森 将彰
森重木材(株) 代表取締役社長
▶春月新所長の若き情熱と英知を頂き、九州
の一員として努力していきましょう。



鹿児島ジャパン建材会

正会員 20 賛助会員 30

会長
諏訪面 昭
(株)いちろう本店 代表取締役
▶会員一致団結し、チームワークを活かし、
会の発展に力を入れる。



沖縄ジャパン建材会

正会員 18 賛助会員 14

会長
小山 幹太
(株)茶甚 代表取締役社長
▶新規会員の増加を進め研修会を企画し、会
の発展を目指します。



“勝ち残る会社づくり”を
一緒に進めましょう!

ハウス・デポ加盟店募集

私たちは、全国の建材流通に携わる販売店をサポートします。

We Design Your Dream

加盟店への サポートメニュー

- ✓全国・エリア社長会の実施
(経営者・管理者研修)
- ✓月次決算の改善アドバイス
- ✓デポライブラリーの実施
(社員研修)
- ✓「ハウスデポ・リフォーム」
ツールの提案
- ✓ハートシステム
リフォームローン(完成保証)

増え続ける
加盟店

設立以来、加盟店は
着実に伸び続け

340店

となっています。

(2016年3月末現在)



株式会社 ハウス・デポ・ジャパン

〒136-0082 東京都江東区新木場1-7-22 新木場タワー 5F
TEL. 03-5534-3811 FAX. 03-5534-3819 URL. <http://www.housedepot.co.jp>

ハウス・デポ・パートナーズは
工務店と家づくりを住宅ローンと各種保険で応援します。

金利が更に一段と下がりました。
「住宅ローン借換の絶好のチャンス」です!

ハウス・デポ・パートナーズ
大阪支店開設しました!!



長期固定金利住宅ローン
ハウス・デポ
【フラット35】



所在地：〒530-0047

大阪府大阪市北区西天満二丁目六番八号 堂島ビルディング七階七〇五号
(大阪市営地下鉄御堂筋線淀屋橋出口① 大阪市役所方面出口)

電話：06-6314-0035

大阪担当：岡田、安原、田中

お問合せ・お申込みは・・・



[三井物産・JKホールディングスグループ企業]

株式会社ハウス・デポ・パートナーズ

フリーダイヤル：0120-887-800

Mail: hdp@housedepot-p.co.jp

担当：営業部 伊東、北野、荒谷、伊坂、村田

貸金業登録番号 関東財務局長(1)第01508号
日本貸金業協会会員 第005893号

複雑な構造計算が必要ない

KEYLAM 耐震開口フレーム

株式会社 キーテック

日本各地で自然災害が多発し、住宅や建築物の安全性確保が急務の課題となっています。
『KEYLAM 耐震開口フレーム』は、耐震化による安全かつ快適な住まいの実現に貢献します

【必要な箇所に簡単に取り付け】

『キーラム耐震開口フレーム』は、『ラーメンフレーム』のような複雑な構造計算が必要ない開口フレームです。ビルトイン・ガレージや開放的なリビング等、広い開口が必要となるプランに合わせて 必要な箇所に簡単に取り付けられます。

【自由な開口部デザイン】

キーラム耐震開口フレームは加工しやすい木質材のため、開口の 大きさに合わせた自由な開口デザインに対応可能です。

【狭小地に最適】

耐力壁の代わりに採用することで狭小地でも開口が確保でき、明るい家を実現します。

【開口部の設計】

開口部を補強することによって地震による揺れ及びねじれを抑え、住宅の構造的バランスを取ることが可能です。



高性能ノンフロン断熱材

カネライトフォーム® スーパー EX

カネカケンテック株式会社

さらなる省エネルギー、住宅の長寿命化が求められるなか、『カネライトフォーム』は断熱材として高い評価を得ている一方で、自然との調和をはかり、未来に繋げる環境づくりに貢献します。

【優れた断熱性能】

熱伝導率 0.024W/ (m・K) を達成。押出法ポリスチレンフォーム保温板 3 種 b に対し、断熱性能が 15% アップ。

【優れた圧縮特性】

押出法ポリスチレンフォーム保温板 3 種 b の圧縮強さ 20N/cm²を確保。

【優れた安全性・環境性】

JIS 燃焼性規格合格、発泡剤のノンフロン化／PRTR 対象物質のゼロ化を実現。

A-XPS-B-3b (3 種 b)

【一般物性】 試験法 JIS A 9511

密度 25 kg /m³以上
熱伝導率 0.024 W/ (m・K) 以下
圧縮強さ 20 N/cm²以上
曲げ強さ 25 N/cm²以上
吸水量 0.01 g/100cm³以下
透湿係数 145 ng/ (m²・s・Pa) 以下 (厚さ 25mm)
燃 焼 性 合格
ホルムアルデヒド放散区分 F☆☆☆☆等級
※燃焼性の規格は「3 秒以内に炎が消えて、残じんがなく、かつ燃焼限界指示線を超えて燃焼しない」ことです。

【規格】

幅 910 mm
長さ 1,820 mm
厚さ 30・35・40・45・50・55 mm



イチ押し



耐震・耐火関連商品



Bulls 通気見切縁 BM2

準耐火30分認定品
認定番号 QF030RS-0179

BM2は小屋裏にこもる湿気や熱気を、軒天部分から換気することで健康や安全を確保する製品です。
防火地域などの建築制限や省令準耐火の対象となる建物、軒裏が耐火性能を有している製品を使用することが必要です。
BM2はエコブルスケイカル12mm品(不燃認定NM-2710)との組み合わせで、軒裏30分準耐火構造認定(QF030RS-0179)を取得しております。(エコブルスケイカル単板でも、軒裏30分準耐火構造認定(QF030RS-0180)を取得しております。)

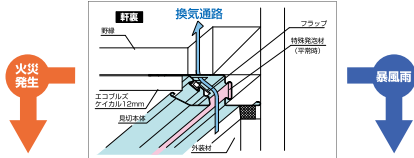


意匠性が良く、理想的な換気が出来ます。
雨水などの浸入を防止し、火災発生時には延焼も防止します。

特徴

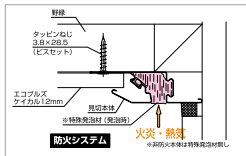
その1 理想的な換気ができます

■防火通気見切縁は、部分的換気方式と異なり建物の全周で理想的な換気ができます。
■製品開口面積：100cm²/m



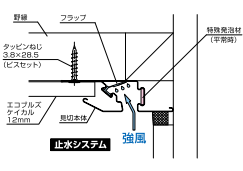
その2 延焼を防止します

■火災発生時に、通気口が自動的に閉鎖し、火の蔓延を防止します。
■火災発生時に、通気口が自動的に閉鎖し、火の蔓延を防止します。
■準耐火30分構造の軒裏に対応できます。



その3 雨水などの浸入を防止します

■止水用のフラップをセットしましたので、台風など暴風雨時、雨水などの浸入を防ぎます。
■フラップは風速約10m/sで動作を始めます。



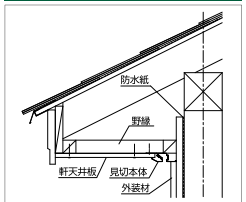
カラーバリエーション

色記号 [WH] ホワイト
色記号 [UG] アーバングレー
色記号 [DB] ダークブラウン
色記号 [BR] ブラウン
色記号 [LB] ライトブラウン
色記号 [SL] シルク

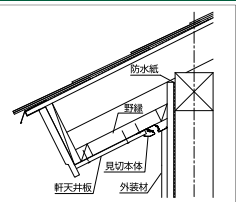
その4 簡単な納まりできれいに仕上がります

■軒天井下にビスを打ち、ビス頭が隠れます。
■水平軒天は、ビスを打ち、ビス頭が隠れます。
■見切を納め、きれいに仕上がります。

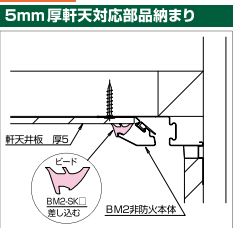
水平天井納まり



勾配天井納まり



5mm厚軒天対応部品納まり



*認定に関する納まりなどの詳細については、認定書をご確認ください。

Bullsファイヤーストップ45換気口



軒裏45分準耐火性能試験をクリアし、大臣認定を取得。住宅性能表示耐火等級3に対応しています。

- グリル・ダンパー体型のため、施工性が高く、ビスを取り付けた時のグリルの歪みがありません。
- スリムなデザインで、出の小さい軒にも容易に取付きます。

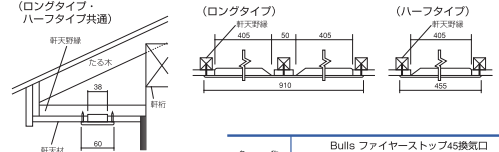


カラーバリエーション(全3色)

〈ロングタイプ〉



■取付図



〈ハーフタイプ〉



防火機能を持たない「Bulls スーパースリム軒裏換気口」もあります。

認定内容をご確認の上ご使用ください。

認定仕様軒天材
① 繊維強化セメント板(不燃)厚さ12mm以上
② 繊維強化セメント板 厚さ12mm以上
③ スラッグセメント板(NM-8314)厚さ12mm以上

名 称	Bulls ファイヤーストップ45換気口		Bulls スーパースリム軒裏換気口	
	ロングタイプ	ハーフタイプ	ロングタイプ	ハーフタイプ
有効換気面積	161.0cm ²	80.5cm ²	175.0cm ²	87.5cm ²
本体寸法	60×910mm	60×455mm	60×910mm	60×455mm
開口寸法	40×410mm (2ヶ所)	40×410mm	40×860mm	40×405mm
製品・商品コード	BSS-90-FD503813	BSS-45-FD503713	BSS-90/503803	BSS-45/503703
注 意 事 項	国土交通省消防庁 認定番号 QO49RS-0070			
材 質	ステンレスカラービス ×14本	ステンレスカラービス ×8本	ステンレスカラービス ×10本	ステンレスカラービス ×6本
梱 包	10台/ケース	10台/ケース	20枚/ケース	20枚/ケース

Bulls耐力壁ビス

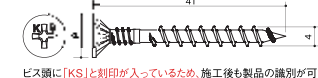
大臣認定品

壁倍率3倍
(FRM-0284)
壁倍率4.9倍
(FRM-0285)

在来軸組工法で使用する構造用合板の耐力壁ビスで、壁倍率3倍と4.9倍の国土交通大臣認定を取得しています。

- ビスのピッチを変えるだけで壁倍率3倍と4.9倍の使い分けができます。
- 施工後はビス頭の刻印で製品識別が可能です。
- 筋かいが不要なため、断熱材の納まりがよく、施工性が向上します。

■仕様図



■仕様一覧

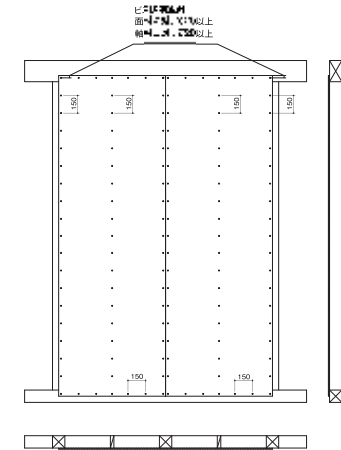
仕様	壁倍率3倍品	壁倍率4.9倍品
仕様	大型仕様	大型仕様
面材	JAS規格品 9mm	JAS規格品 9mm
品番	FRM-0284	FRM-0285
ピッチ	外周 150mm 中通 150mm	100mm 150mm
緑地距離	面材に対して20mm以上	面材に対して20mm以上
倍率	3.0倍	4.9倍
国土交通大臣認定番号	第FRM-0284号	第FRM-0285号

■施工仕様と施工管理

- 施工44種
① 耐力壁の耐力を確保するため、45mm程度とする。
② 耐力壁の耐力を確保するため、45mm程度とする。
③ 耐力壁の耐力を確保するため、45mm程度とする。
④ 耐力壁の耐力を確保するため、45mm程度とする。
⑤ ビス間隔は、耐力壁の耐力を確保するため、45mm程度とする。
⑥ ビス間隔は、耐力壁の耐力を確保するため、45mm程度とする。
⑦ ビス間隔は、耐力壁の耐力を確保するため、45mm程度とする。
- 施工管理
① 耐力壁の耐力を確保するため、45mm程度とする。
② 耐力壁の耐力を確保するため、45mm程度とする。
③ 耐力壁の耐力を確保するため、45mm程度とする。
④ 耐力壁の耐力を確保するため、45mm程度とする。
⑤ ビス間隔は、耐力壁の耐力を確保するため、45mm程度とする。
⑥ ビス間隔は、耐力壁の耐力を確保するため、45mm程度とする。
⑦ ビス間隔は、耐力壁の耐力を確保するため、45mm程度とする。



■施工図 外周@150mm、中通@150mm(壁倍率3倍用)の場合



品名	規格
BKS-4041	114451
6,000枚/ケース(1,000枚×6ケース)	
材 質	JIS G 3507-2 SWCH18A相当
表面処理	ジヤム
承認 等	国土交通大臣認定 認定番号FRM-0284/FRM-0285



制震ダンパー「安震くん」

倒れない家 から 壊れない家へ
制震住宅 地震の揺れを抑えて、家族、財産を守ります
にしてみませんか?

お住まいに制震をプラス

安震くんが選ばれる4つのポイント

- 1 地震エネルギーを最大55%低減
- 2 スピード簡単施工
- 3 新築・リフォーム設置可能
- 4 メンテナンスフリー

製品情報 Bulls制震ダンパー「安震くん」 品番:BDA-08
オープン価格 ※工事費は別途見積りとなります。 ※工事費は別途見積りとなります。

お問合せは、ジャパン建材各営業所・サポートセンターまでお願いします。

めざせ
地域活性隊

ジャパン建材
西日本グループ
四国営業部

四国中央出張所



所長 北條 篤志

当出張所がある四国中央市は、地理的には愛媛県の東端に位置し、四国の他の3県（香川県、高知県、徳島県）に接しています。2004年に川之江市、伊予三島市、土居町、新宮村が合併してできた新しい市です。

戦国時代には交通の要衝として重視され多くの砦が築かれ、現在も多くの遺跡が残されています。江戸時代に入ると土佐海道の始点として商業が発達して港町、宿場町として栄えました。現在は製紙・紙加工業の製造を中心に発展し、紙製品の出荷額は6年連続日本一となっています。

新居浜市の新居浜太鼓祭り、徳島の阿波踊り、高知のよさこい祭りとは並び四国三大祭りとして知られ、毎年10月16日～18日の3日間を中心

新居浜太鼓祭り



平素はお得意先様をはじめ仕入れ先様には、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

四国中央出張所は、営業1名、業務1名、倉庫1名の総勢3名の少数精鋭のスタッフで活動しています。営業エリアは愛媛県の新居浜市、四国中央市、香川県の観音寺市、三豊市、徳島県の三好市を担当しています。開所して約1年半の新しい出張所ですが、お得意先様、仕入れ先様に信頼・期待され、地域に根付いた拠点を目標に所員一同取り組んで参りますので、今後ともご指導、ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

に50台以上の太鼓台と呼ばれる山車が練り歩きます。太鼓台は金糸銀糸に彩られ絢爛豪華かつ巨大で高さ約5.4メートル、長さ約11メートル、重さ2.5トンにもなり、総勢約150人ほどの「かき夫」と呼ばれる担ぎ手らが担ぎあげます。新居浜太鼓祭りの最大の見所は「かきくらべ」で、約150人のかき夫が一斉に天高く担ぎあげる「さしあげ」や房の割れ方や地面に降ろさずに担ぎあげている耐久時間などのパフォーマンスを競う姿は、とても迫力があり観客を圧倒します！！

徳島県三好市は四国四県の市町村の中で最も面積が大きく、剣山、吉野川など四国や西日本を代表するような山河が揃い、豊かな自然に恵まれています。見所の観光スポットも多く、吉野川中流域に位置する溪谷である大歩危（おおぼけ）小歩危（こぼけ）峡は夏季には多くのラフティング、カヤック愛好者を集めるほか百年以上の歴史がある大歩危峡遊覧船で知られ、間近で豊かな自然と吉野川の美しさを体感することができるお勧めのスポットです。また西祖谷のかずら橋は長さ45メートル、幅2メートル、谷からの高さ14メートルで日本三奇橋の1つでもあります。かずら橋とはサルナシなどの葛類を使って架けられた原始的な吊り橋です。現在ではワイヤーで補強されています。橋床から谷底が見えたり、グラグラ揺れたりしますので高所が苦手な人には難しいかもしれませんが、アトラクション的な感じと自然を楽しめますので、周辺にお越しの際は是非お立ち寄りください。



晴れ

ジャパン建材 合板部
部長 畑野 昌俊

新設住宅着工数

2016年3月度の新設住宅着工数は75,744戸（前年同月比108.4%）で3カ月連続の増加となった。その内、木造住宅は41,154戸（同比107.6%）で同じく3カ月連続の増加となった。季節調整済年率換算値は99.3万戸。利用関係別では持家が22,274戸（同比104.3%）で2カ月連続の増加、貸家は30,572戸（同比101.1%）で5カ月連続増加、分譲は22,125戸（同比126.0%）と2カ月連続で増加した。分譲の内訳はマンションが前年同月比149.0%と大きく増加し、戸建も108.0%と5カ月連続増加となっている。

国内合板

国内針葉樹合板の3月度生産量は25.4万㎡と過去最高となった。出荷量も23.8万㎡と好調であったが生産量が上回ったことで在庫量も増加した。

しかし、それでも13.3万㎡と依然として低水準にあることに変わりはない。4月には秋田の工場火災、熊本で震災と今後合板市況に影響を及ぼす出来事があった。特に秋田の合板メーカー工場火災の影響は心配されたが、東日本大手メーカーグループがすぐに供給減少分をカバーする発表を行ったことで市場は混乱することはなかった。5月度は稼働日数が少なく供給量が減少することも有ってか、アイテムによっては納期が付きにくくなっている。6月以降も着工数の推移によっては同じ状況が続くことも考えられるので、先行きの仕事状況の把握と早目の手配をすることを勧めたい。

輸入合板

入荷量の減少が続いており、港頭在庫も調整され、アイテムによっては品薄感のあるものも出てきている。今後は入荷量の減少も見込まれており、需要が増加してくるとさらに品薄感が深刻化することもあり得る。価格も現地価格が上昇していることもあり、品薄商品を心に上昇傾向を辿っていくことが考えられる。国内針葉樹合板同様に、早めに手配することを勧めたい。

JK お客様
センター

お聞かせ下さい。お客様の声！
フリーダイヤル 0120 (563) 568 受付時間：平日 8：30～17：20
土曜日・日曜日・祝日・年末年始・夏季休暇は、受付を休ませていただきます。

企画
発行

ジャパン建材株式会社 JK 情報センター

〒136-8405 東京都江東区新木場 1-7-22
TEL:03-5534-3711 (代) FAX:03-5534-3855 (代)
URL: <http://www.jkenzai.co.jp>